

北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
北区安全安心のまちづくり事業(堺市北区自主防災会)		自治推進課			
事業目的	事業内容	活動指標	H27	H28	H29
北区における大規模な地震、水害、火災等に備え、地域と行政が連携し、区民が安全で安心して暮らせるよう地域防災力の向上を図る。	自主防災訓練への支援や、防災研修等を実施し、地域の防災リーダーの養成、また各校区の災害備蓄を整備していく。	防災研修の参加者数	女性を対象とした研修(第1回49名、第2回24名、第3回23名)	防災見学(加古川グリーンシティ防災会)26名 女性を対象とした研修40名 PTAを対象とした防災出前講座60名	防災見学(大阪管区気象台・津波高潮ステーション)26名 女性を対象とした研修16名
		自主防災訓練事前リーダー研修の実施	7校区	7校区	7校区
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
◎ 地域の安全安心のまちづくりのため、各校区での自主防災訓練の実施や研修等を通じて防災意識の向上を図ることができる。	◎ 各校区自治連合会長をはじめ、校区の防災担当者と連携して防災力を高めていくことができる。	○ 防災会を通じて、各校区での自主防災組織での課題や解決策を検討するなど情報を共有する場としても有効である。	○	防災研修を行うにあたり、各校区自治連合会長や防災担当者と内容を検討し、各校区一堂に会して研修を実施することにより、多数の参加があった。	
⑤自立発展性	総合評価				
◎ 大規模な災害等に備えて区と地域が連携して防災力を高める必要があるが、各校区の防災リーダーの育成や、校区で災害備蓄物品を整備することにより、災害時の迅速な対応と、自助共助の推進につながる。	◎ 一昨年度から開催している「女性を対象とした研修」のフォローアップ研修で、女性の視点で備えることや、災害時避難所運営について等の研修を行い、校舎配置図を確認しながらレイアウトを考え、また、大阪管区気象台の見学、警報等の発令のタイミング等の講習を行い、津波高潮ステーションでも防災研修を行った。また、地域が持っている課題等の情報交換、意見交換を行うことができた。 各校区の災害備蓄の整備は、それぞれの校区で必要な備蓄物品等を決定し、27年度から3年間で備蓄整備を実施することができている。				
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> 拡充 ◎継続 見直し 廃止 </div>	次年度は各校区の防災リーダー育成のため、防災士養成講座を開催し、地域の防災力向上、防災研修、自主防災訓練などを今後も引き続き実施していく必要がある。				